

参考資料 2

多言語情報等共通ツール

「多言語情報等共通ツール」は、自治体等による外国人住民に対する円滑な情報提供を支援することを目的として、2006年に一般財団法人自治体国際化協会が作成したツールである（開発当時は、財団法人自治体国際化協会）。対象言語は、一般的に使用することが多い6つの言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語）となっており、利用者は自身のパソコンにツールをインストールして使用する仕組みとなっている。ツールには、以下の3種類が用意されている。



災害時多言語情報作成ツールトップ画面

1. 多言語表示シート作成ツール

「多言語表示シート作成ツール」は、災害時の避難場所（指定避難場所か否かを問わない）において、外国人被災者に対し、多言語での情報提供を支援することを基本的な目的としたものである。避難場所の壁等に印刷したシートを掲示して使用するほか、手持ちボード作成ツールとしての使用や避難者等へのチラシ作成ツールとしての使用が可能である。予め 166 のメッセージが用意されておりメッセージは 18 分類と、使用目的に応じた 4 つの分類で区別されている。



多言語表示シートで作成したチラシ（例）

2. 携帯電話用多言語情報作成ツール

「携帯電話用多言語情報作成ツール」は、自治体等が発信する、携帯電話用 Web サイトへの掲載情報や、携帯電話の電子メールに送信する情報について、多言語での災害情報を

簡単に作成することができるツールである。予め71の基本的な文例を用意しており、基本的な文例は、災害発生直後等の情報発信に必要とされる緊急性の高い情報カテゴリー（表1）と災害発生から復興に向けて段階的に必要となる広範囲な詳細情報カテゴリー（表2）に分けて、分類されている。

表1 災害発生時情報（緊急情報）

分類		内容
1	時間	情報の現在時刻
2	地震予知情報	警戒宣言発令に関する情報
3	地震情報	地震の震度・震源等に関する情報や津波、余震に関する情報
4	気象情報	気象警報・注意報に関する情報
5	避難情報	避難情報や避難場所に関する情報
6	危険情報	崖崩れ、ガス漏れ等危険に関する情報

表2 カテゴリー別文章

分類		内容
1	被害安否情報	被害情報や安否確認に関する情報
2	多言語情報	多言語によるラジオ放送やホットライン等に関する情報
3	交通情報	鉄道、道路等交通に関する情報
4	支援情報	物資配付場所、仮設風呂等被災者支援に関する情報
5	医療機関情報	医療機関に関する情報
6	インフラ情報	ガス、電気、水道等インフラや店舗営業に関する情報
7	相談・説明会情報	相談窓口や仮設住宅説明会等に関する情報
8	注意喚起	エコノミー症候群や一酸化炭素中毒に関する情報

### 3. 多言語音声情報作成ツール

「多言語音声情報作成ツール」は、災害時に災害情報や被災者への注意等を音声で提供することを支援するためのツールである。災害情報を外国人に音声で伝えるため、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語およびタガログ語で録音された音声素材を簡単に再生することや、ダウンロードして取り出すことが可能な仕組みとしてある。音声素材は35のカテゴリーに分類され準備されている。

(参照) 一般財団法人自治体国際化協会「多言語情報等共通ツール」ホームページ

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/tool.html>